

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス バレット		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内のレクリエーションのみではなく、様々な場所への外出も行き、児童が社会経験や体験をすることが出来ている。	・外出の際、児童へのリスクを軽減するために、普段のレクリエーションで、スタッフの指示を聞けるよう、ルールを守って活動している。 ・天気の良い日に散歩を行い、歩くときの注意点(歩道を歩く、信号の見方、スタッフより前を歩かない等)を児童に覚えてもらうように取り組んでいる。	・事業所内でのレクリエーションで、急な災害の際の取るべき行動の動画を見たり、交通安全の動画を見ながらリスク管理の勉強を行っている。
2	・偏食の児童がいるため、様々なおやつを提供し、食べられる食材や料理の幅を広げている。	・アレルギーに配慮し、児童一人ひとりに合わせた食材、量を提供し、偏食が少なくなったとの報告が多くある。	・カロリー等にも配慮し、肥満気味の児童へのおやつを提供料を家族と相談しながら取り決めている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー化が不十分である。	・玄関から室内まですべてフラットになっており、トイレにも手すりがついているが、訓練室等通る場所に手すり等がない。	・訓練室等にも手すりや掴まる取っ手を付ける等の工夫が必要。
2	・児童館や放課後児童クラブ、地域の他の子どもと交流する機会がない。	・地域の公園での他の子どもとの交流は時々あるが、児童館や放課後児童クラブ等、交流する機会がない。	・地域の子どもたちと交流する機会を増やす為、公園等への外出を行い、一緒に遊ぶ等の交流を出来るように図る。
3	・ヒヤリハットの発生事例の書き込みが少ない。	・施設内でのリスク管理を行う際、実際のリスクへの対応と、スタッフ間での情報の共有は行っているが、文章に書き起こすまでの意識付けが低い。	・リスクが発見された場合、スタッフ間での共有とともに、文章として書き起こすことを徹底する。